ポロトミンタラフェス
～名古屋外大との姉妹校交流～



９月４日、生徒会執行部は、断水により延期されていた「ポロトミンタラフェスティバル」に参加しました。毎年交流のある名古屋外国語大学の皆さんと会議を重ね、名古屋のソウルフード「たません」を共同出店。えびせんに目玉焼きやソース、キャベツなどを挟んだ一品ですが、今回は白老産の卵を使用して販売し、見事完売することができました。普段なかなか交流できない方々と一緒に準備や販売を行い、生徒会にとっても楽しく貴重な経験となりました。ぜひ来年も参加したいと思います。

第 40 回スポーツフェスティバル

９月 25 日、秋晴れの空の下、白老東高校は第40回スポーツフェスティバルを開催いたしました。午前の部が５種目、午後の部が４種目の合計９種目となり、大変盛り上がりました。その中から特に盛り上がった種目を抜粋して皆さんにお伝えしたいと思います。

～午前の部～

午前の部は玉入れからスタート。３年生にとって、幼い頃から親しんできた玉入れも今回が最後です。Ａ組、Ｂ組ともに 100 個を超える玉を入れ、好調なスタートを切りました。続く綱引きではクラスごとに戦略や掛け声を工夫し、息の合った姿を披露。借り物競争では、お菓子やレシート、１円などのお題に加え、「サッカーボール」という意外なお題も登場。校内の倉庫まで走る選手の姿に、会場は笑いに包まれました。午前の部の最後を飾ったのは障害物競走。皿回しや足つぼマット、かたくり粉の中からあめを探すあめ食い、ぐるぐるバットなど、ユニークな障害に挑戦しました。選手と並走して応援する生徒の姿も見られ、会場は大盛り上がり。競技後には、顔を真っ白にした生徒や、足元がおぼつかない生徒の姿も見られ、笑顔と歓声に包まれた午前の部となりました。









～午後の部～

特に盛り上がりを見せたのは借り人競争、混合ソフトボール、リレーの３種目でした。借り人競争はクラス対抗。走者はお題の書かれたメモを持って観客席へ向かい、多くの生徒や先生方の協力を得ながらゴールを目指しました。「長女」や「お母さんみたいな先生」といったユニークなお題もあり、会場全体で競技を楽しむ姿が見られました。混合ソフトボールでは男子５人、女子５人の計 10 人でチームを編成し、熱戦が繰り広げられました。特に３年生対２年生の試合は真剣に競技に取り組む生徒たちの姿が印象的でした。最後のリレーでは、開始直後から大きな声援が飛び交い、最後まで勝敗の分からない接戦となりました。仲間と力を合わせて競技に挑む姿に、会場も大きな盛り上がりを見せました。

毎年、スポーツフェスの時期は３年生の就職試験と重なりますが、今年は１年生が１クラスとなったこともあり、多くの種目に出場する生徒の姿が見られ、冬の球技大会への期待もさらに高まる一日となりました。